

省エネ基準工事監理報告書（モデル建物法）

令和 3年 8月 1日

様

工事の監理状況を報告します。
この監理報告書及び添付書類に記載の事項は、事実に相違ありません。

工事監理者 省エネ 工事

物件概要

Table with 2 columns: Item (Building Owner, Project Name, Site Address) and Value (Company Name, Project Name, Address).

報告内容（以下の項目について申請図書の通り施工されたことを報告します。）

Main table with 5 columns: Item, Report Item, Reference Design, Confirmation Method, Confirmation Result. Rows include exterior, air conditioning, ventilation, lighting, hot water, elevators, solar power, and cogeneration.

[注意] 1. 本様式は、「モデル建物法」により建築物エネルギー消費性能基準への適合性を確認した建築物に係る工事監理を対象としています。 2. 計算対象となる設備等が無い場合は、当該設備等に係る項目の記載は不要です。 3. 「照合を行った設計図書」の欄は、建築物省エネ法施行規則第1条第1項に規定する図書等のうち、工事監理で照合を行った図書を記載してください。 4. 「確認方法」の欄は、A・B・Cのうち、該当するものを○で囲んでください。Cに該当する場合は、確認に用いた具体的な書類を記載してください。 A: 目視による立会確認 B: 計測等による立会い確認 C: 施工計画書等・試験成績書等による確認